

和牛甲子園優秀賞、健闘たたえる

大垣養老高に栄誉の牛肉



和牛甲子園で優秀賞を受賞した生徒の健闘をたたえた(後列右から)西村寿文県本部長と小林徹組合長ら。養老町祖父江、大垣養老高校

出品の飛騨牛、J Aが贈呈

J A全農岐阜とJ Aにしてみの8日、高校生が育てた和牛の肉質や取り組みを競う大会「第5回和牛甲子園」の枝肉評価部門で優秀賞を受賞した養老町祖父江の大垣養老高校に、出品した飛騨牛の精肉4キを贈り健闘をたたえた。

大会には、同校生産科学科3年の佐野留那さん、白濱綾花さん、日比こころさんの3人が育てた雌牛1頭を出品。出品牛は東京都中央卸売市場食肉市場へ出荷され、最高級のA5等級に格付けされ精肉店で販売される。同校の優秀賞受賞は初めて。

同校を訪れたJ A全農岐阜の西村寿文県本部長とJ

Aにしみの小林徹組合長は、生徒を激励し購入した精肉を手渡した。佐野さんと日比さんは精肉を確認して「肉は薄いピンクで、脂肪の色もきれいにれている」と笑顔を浮かべ、「これからも飛騨牛の良さを伝えていきたい」と話した。肉は生徒が自宅に持ち帰り食べるといふ。

(小田香緒里)